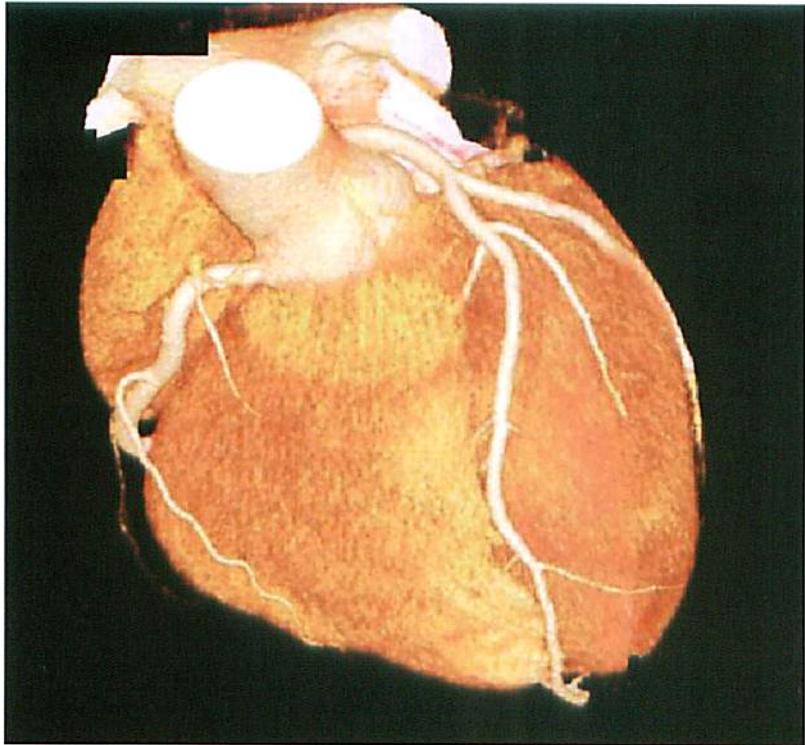


ぱるす

Vol.15



さて、この写真は何でしょうか?
詳しいことは1ページに。



CONTENTS

- ♥ 64列CTがついに稼動
- ♥ 早朝手術の理由
- ♥ ぱるすちゃんの投書箱
- ♥ 愛心館グループだより
 - プラットホーム
 - 愛心循環器クリニック
 - 愛心内科・消化器科クリニック
 - 来夢ライン
 - ステーションあいしん
- ♥ 明治141年の生活
- ♥ あなたの知らない病院の世界

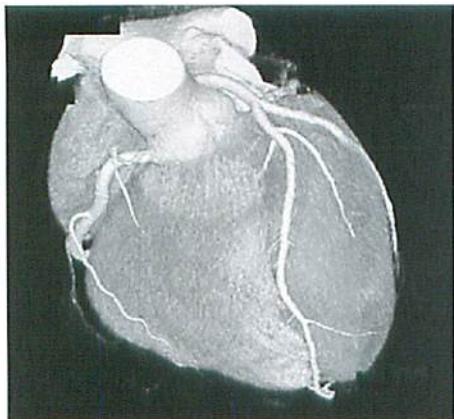
医療法人社団愛心館

愛心メモリアル病院 · 愛心循環器クリニック · 愛心内科・消化器科クリニック

訪問看護支援ステーションあいしん · 介護老人保健施設プラットホーム · 来夢ライン 訪問看護ステーション
療養通所介護事業所

64列CTがついに稼動

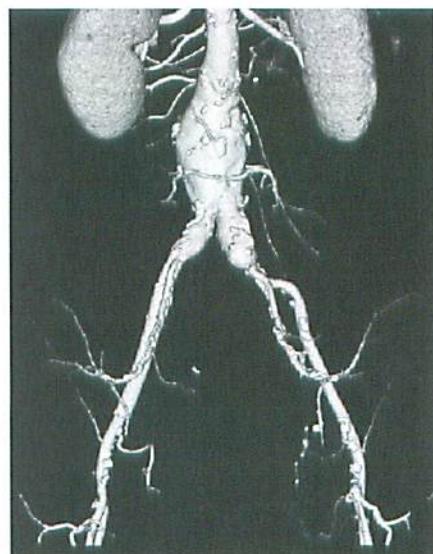
待望の新しいCT装置が8月18日(月)から愛心メモリアル病院で稼動を開始しました。右の写真をご覧下さい。これは、64列CTと呼ばれるもので、これまでのCT(4列CT)の16倍ものデータが1度に得られるため、短時間の撮影でとても細かいところまで見えます。特に、これまでのCTでは難しかった細い血管の撮影が可能になり、心臓や足の血管もはっきりと見えるようになりました。これによって、心臓病や動脈硬化の診断もずっと楽になります。



例えば、狭心症や心筋梗塞の原因となる心臓の動脈(冠動脈)の変化は、これまでには心臓カテーテル検査を行わないと充分にはわかりませんでした。この検査では、カテーテルを通す針を腕や足の付け根の動脈から直接刺すので、検査の後は長時間の圧迫固定が必要なため、1泊入院が必要です。しかし、64列CTでは、点滴をしながら、検査時に造影剤を注入し、十数秒の息止めをするだけで、左図のような心臓の血管の画像が簡単に得られ、入院の必要もありません。ただし、最終的な画像の処理には、お時間を要しますので、その点につきましてはご了承下さい。

心臓の検査は恐ろしいものと思って逃げていた方も、これなら大丈夫です。ただし、心臓の状態や血管の性質によっては、やはりどうしても心臓カテーテル検査でなければ充分な検査が出来ない場合もありますので、ご理解いただいた上で医師と相談して下さい。

また、下肢の動脈硬化の検査も、針を足の付け根の動脈から直接刺して検査することが多かったのですが、これも64列CTでは、点滴のように静脈を刺し、検査時に造影剤を使用するだけですので、負担はずっと軽くなりました。下肢の血管の病気が疑われる人は、まず外来で64列CT検査を行えば、どこの血管が狭くなったり詰まっているのかがほとんど分かります。それによって、治療方針をあらかじめ決めることができ、患者様の都合に合わせた入院や手術の計画を立てることが出来ます。さらに、動脈瘤などの診断でも、よりリアルな立体的な画像が得られるため、ステント治療のような負担の少ない新しい治療法への強力なサポートが得られるようになりました。



このように、当院では新しい機器の導入も含めて、患者様に優しい安全で負担の少ない検査・治療を進めております。検査や治療に対する不安や疑問のある方は、いつでも職員にお尋ね下さい。

早朝手術の理由

もうすでにご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、愛心メモリアル病院では、手術を早朝の6時30分から開始しております。初耳の方はきっとこう思うでしょう。「どうして?」、「どうしてそんなに早いの?」と。ここではその理由をご紹介いたします。



一つ目は、心臓の大きな手術をしたとしましょう。手術には5時間や6時間ほどかかります。そして、手術が終了し、集中治療室に移動します。この手術直後というのは非常に不安定な時期であります。そんな時には、鋭い観察力と迅速な対応が不可欠となります。早朝から手術をすると、終了するのは昼過ぎで、日中勤務の医師や看護師等を含め、医療従事者がたくさんいます。そうなんです。手術直後に、多くの医療従事者の目と手を患者様に向けることができるように、早朝に手術を実施しているのです。「患者様の安全」のためと考えております。

二つ目は、職員がベストな状態で手術に臨めるからです。例えば、医師の場合です。病棟の回診や外来診察で何十人も患者様を診た後に手術に臨むのか。朝、目が覚めてから手術に臨むのか。外科の病院である当院としては、早朝に手術することを選択しました。それによって、医師を含めた医療従事者が、頭も身体も良好な状態で手術に臨むことができ、それが、「患者様の手術の質の向上」に結びつくと考えております。

欧米では、早朝の手術があたり前です。愛心メモリアル病院を開院する以前に、理事長の高橋が欧米の病院を視察し、「これはよい!」と実感し、導入のきっかけになりました。その後、ずっと早朝の手術を継続しております。

以上のような理由で、愛心メモリアル病院は朝6時30分から手術を実施しております。皆様のご理解のほど、よろしくお願ひいたします。



ぱるすちゃんの投書箱

今回の投書

他の病院でもらっていた錠剤の薬と同じもののがなく、愛心メモリアル病院からは粉の薬が処方されました。しかしながら、飲みづらく、錠剤に変えられないかどうかを受付に聞きました。すると、看護師に言ってくれとの事。となりに薬剤師がいるのに不親切です。話をして薬剤師に言うと今度は先生に言ってくれとの事。先生、看護師にも言いましたが、要望書を書きました。品種を増す事は出来ないと思いますが、切り替えは出来ると思います。いかがなものでしょうか。

A

薬剤には専門としている職種があるように、病院職員でもその専門ではない職種がお答えすることは、情報の正確さに欠け、かえって患者様にご迷惑をおかけしてしまう可能性があります。今回のような処方されているお薬の形態を変更することに関しては、受付職員でも薬剤師でもお話を伺うことはできます。そこから診察に携る看護師や医師に伝達することもできます。しかしながら、今回はそのような対応がなされていませんでした。患者様には不快な思いをお掛けしましたことを、この場を借りて深くお詫び申し上げます。

患者様には様々なご要望並びに疑問があるかと思います。病院のどこに相談すべきかを申し上げますと、お身体のこと、病気のこと、または病名のこと、検査結果等の内容、患者様が処方して欲しい薬剤のことなどについては看護師又は医師にご相談して下さい。会計や診察予約などの事務的な内容に関しては、受付職員がお答えします。お薬の飲み方や飲み合わせ、副作用についての内容には薬剤師がお答えします。ひとつの目安としていただければ幸いです。また、専門としていない職種でも伝達は可能ですので、何なりとお声を掛けて下さい。

ただ、伝達は、間に人が入るほど正確さに欠けますので、せっかくお話をいただいた内容を再度ご確認させていただく場合もあるかと思います。その時はご了承いただけますようよろしくお願ひいたします。

また、薬剤採用については当院の常勤医師ならびに薬剤部が会議で検討しております。ご要望については今後検討していくこととします。



愛心館グループだより



活躍！ボランティアさん…プラットホーム

今回はプラットホームでの「ボランティアさん」の活躍についてお知らせします。

当施設には、ここで生活をしながらご自宅等での生活を目指してリハビリをしている方とご自宅で過ごしながら身体機能維持・向上を目的として通いのサービスを受けている方がおります。

この利用者様の多くは、外出の機会が限られていますので、ごく平凡な日常生活とは違ったものに触れる機会が、どうしても少なくなってしまいます。当施設では季節ごとに行事を行ったり、お花見や紅葉観賞、買物などの外出の機会を提供しておりますが、それ以外にも、専門家の協力を得てボランティアで「いつもとは違う時間」を感じていただいております。

こんなことをやっています

メイクアップセラピー

化粧品会社の美容部員によるメイクと記念撮影。残念ながら男性の参加はありませんが、女性のご利用者様の華やいた感じが、ユニットの中も明るくします。

フラワーアレンジメント

近隣のお花屋さんによる参加型の教室。思いのほか男性の参加者も多く、皆さん真剣な面持ちでお花を生けていらっしゃいます。生けたお花はお部屋に飾って楽しんでいただいております。



脳トレ・演歌体操

演歌体操や脳のトレーニング、エアロビ、音楽活動などを手がけているNPO法人の方に来ていただいております。インストラクターの先生のご指導のもと、手遊び、早口言葉、クイズなど、また演歌にあわせて身振り、手振り、合いの手をいれる演歌体操などを行います。様々なツールを使って頭のトレーニングをすることで、脳の活性化につながっています。



室内楽

北海道教育大学音楽科の学生による室内楽のコンサート。楽器の演奏のほかに独唱などもあります。ステージ用の華やかな衣装をまとってきてくださるので、雰囲気も充分、とってもアカデミックな気持ちになれます。

読み聞かせ

物語や詩の読み聞かせ。ただ聞いているのではなくお話や詩の情景を体で表現しながらのアクティブラーニングです。最後はご利用者様も巻き込んで一緒に体で表現します。ボランティアさんの本業を聞くと納得。演出家だそうです。

材料費のかかるものについては有料のものもありますが、ボランティアさんのご好意により全て実費相当の費用でサービスを提供させていただいております。このような方々の支えにより、プラットホームは運営されております。**感謝**

プラットホームでは引き続きボランティアさんを募集しております。

興味を持っていただけの方はプラットホームまでご連絡ください。

介護老人保健施設プラットホーム

Tel.011-776-3037 Fax.011-776-3039

〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1

発表系:所属するサークルでの発表や特技の披露など利用者様が「見たり・聴いたり・ちょっとだけ参加したり」するような事をしていただける方。

趣味系:手工芸や書道、合唱、楽器演奏など、何かを作ったり、書いたり、奏でたりなど、利用者様が主体的に活動できる何か(生き甲斐、趣味)を見つけるために、指導したりリーダーシップを取っていただける方。

癒し系:心穏やかな時を過ごして欲しい。利用者様に癒しを提供していただける方。

日常系:休日の昼下がり、家族が居間に集っているイメージです。チラシでゴミ箱作りをしながらおしゃべりをしたり、囲碁、将棋、オセロや人生ゲームで遊んだり、「○○教室」というのではなく、もっと気軽にありふれた日常に加わっていただける方。現在、大募集中です！

裏方系:「ご高齢の方と濃密に関わるのはちょっと自信がないけれど、ボランティアには非常に興味がある」といった方には入門編として最適です。館内の環境整備や物品補充、イベント時の裏方さん、館内・敷地内の植物のお世話をしていただける方。

クリニックの意外な側面をお教えします

みなさん、こんにちは。

札幌駅直結のJRタワーにあります、愛心循環器クリニック及び愛心内科・消化器科クリニックです。今回は私達のクリニックが所属している『DOKTERS(ドクトルズ)メディカルプラザ札幌』を簡単にご紹介致します。

この『DOKTERS(ドクトルズ)メディカルプラザ札幌』には、私達のクリニックも含めて、JRタワーの7階から9階の間に、14のクリニック及び施設があります。いらっしゃったことのある患者様はご存知かもしれません、このフロアには、脳神経外科や眼科、産婦人科、外科などの専門クリニック、さらに東北以北では最大規模の健診クリニック(女性専用の健診施設もあります)もあり、1つの箇所にいながら、専門性の高い医療や診断を受けることができるのが特徴です。循環器的な疾患、例えば動脈硬化、高血圧や不整脈などは、脳梗塞や一過性に目が見えなくなるなどの症状を合併する可能性が高い病気です。また、患者様の中には、腰や膝の痛みが慢性的にある方、女性特有の病気をお持ちの方も多く、そのような複数の疾患を抱えていらっしゃる方も、当クリニックにかかったついでに、そちらのクリニックへ……。



なんてことが簡単
にできます。患者様
から『あちこちに行
かなくても、1つの
ところで専門の医師
にしっかり診てもら
えるので本当に助かる』と、好評をいた
だいております。

もちろん、愛心循環器クリニックと愛心内科・消化器科クリニックの間で、行き来がある患者様も大勢いらっしゃいます。他のクリニックから、私達のクリニックを紹介されて受診される方々も、年々増えてきております。この点については、本院の愛心メモリアル病院とは大きく違うメリットの1つです。

こちらでは、クリニック同志のお互いの連携もあるので、2科、3科と受診される患者様には、その時の混雑状況により、こちらから『先に眼科さん、行って来てもいいですよ』とお声をかけることもあります。『血液検査の結果が出るまで、整形に行ってくるわ。』と自主的に患者様が動いていらっしゃるケースも非常に多く見受けられます。

このような待ち時間の解消や専門的な治療の可能性を広げることで、効率的かつ効果的な医療サービスを提供できる点が、私どもの理念であります“患者様中心の医療”の追求にも一役買っており、私達クリニックにとって、“大きな強み”になっていると考えます。

これから、本格的な冬のシーズンの到来ですが、「雨でも雪でも傘いらず」で「足下を気にしなくても良い」のが当クリニックです。JRタワーにあります、愛心循環器クリニック並びに愛心内科・消化器科クリニックを、どうぞ宜しくお願い致します。

愛心循環器クリニック

Tel. 011-209-5250 Fax. 011-209-5432

愛心内科・消化器科クリニック

Tel. 011-209-5265 Fax. 011-209-5427

〒060-8503 札幌市中央区北5条西2丁目

JRタワーオフィスプラザさっぽろ8階

ご利用者様のニーズにあわせて…来夢ライン

来夢ライン療養通所介護事業所は北海道内では同様のサービスを提供している事業所が少ない、常時医療的処置を必要とする方向けのデイサービスです。これまでこの種のサービスの存在自体があまり知られていないようでしたが、少しづつ認知度も高まり、おかげさまで当事業所も営業日を段階的に増やさせていただいております。今年4月より祝日の営業を開始し、さらに9月からは土曜日の営業を始めております。今後、ご利用者様の動向を見ながら、日曜日の営業も展開していく予定です。

お問い合わせは 011-776-3555 まで

来夢ライン 療養通所介護事業所 Tel. 011-776-3555
Fax. 011-776-3072
訪問看護ステーション Tel. 011-776-3071
Fax. 011-776-3072
〒002-8072 札幌市北区あいの里2条1丁目20-1



さて、このかばんは
何でしょうか?
詳しいことは次の
ページで。

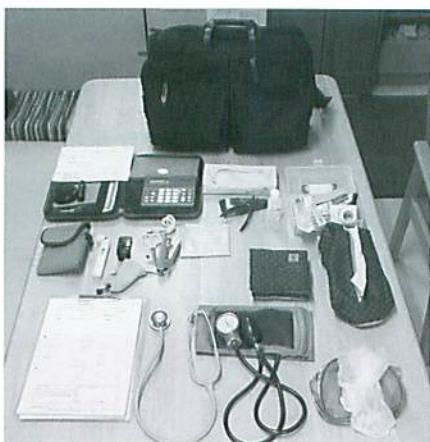
ステーション あいしんだより

訪問看護師のかばんには何が入っているのだろうか？



「前ページの写真」 実は、ステーションあいしんの訪問看護師が持ち歩いているかばんです。今回は、その中味をご紹介します。左側の写真をご覧下さい。大きさは、横45センチ、奥行き20センチ、高さが25センチですので、ちょっとした旅行カバンぐらいの大きさです。では、皆さんに質問です。このかばんは何キログラムあるでしょうか。答えは7ページに右下にありますので、ご参照ください。それでは、中味を公開しましょう。

大きなかばんの中には、訪問看護に必要な物品がつめこまれております。訪問には、だいたい車を運転して伺いますが、事務所から近いお宅もあれば、片道25分かかるお宅もあります。忘れ物をする度に事務所に戻るのでは効率が悪いですし、利用者様とは訪問時間の約束をしておりますので、遅れることはできません。臨機応変に対応できるように物品を備えていると、どんどんかばんが重くなっていく傾向にあります。A看護師のかばんも大きくて、利用者様には旅行にでも行くのかい？といわれるほどです。それでは、かばんの中にはどんなものが入っているのでしょうか。まずは、左下の写真をご覧下さい。



訪問看護では病状の観察が主になりますので、血圧計、聴診器、体温計、酸素飽和度計が入っております。訪問看護の内容で最近多いのが、フットケアです。足の冷感、むくみがある方に足浴をし、その後オイルマッサージしております。

右の写真の小さい座布団は何に使うのでしょうか？ B看護師の私物ですが、リハビリやマッサージをするときに床に膝（素足）をつくので、膝が痛くならないように使っております。



左の写真をご覧下さい。爪が肥厚していたり、陥入爪になっていたりすると、自分で爪切りできない方も多いため、この爪切り（写真左の右下）を使用してお手伝いしております。



右の写真は訪問時の状態などを記録するものです。1枚目はステーションのファイルに保管し、2枚目はご利用者様のご自宅に健康の記録として保管していただいております。



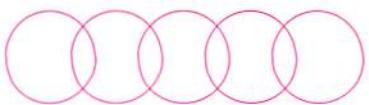
直接、利用者様に利用料をいただいてくるので、領収書や電卓なども入っております。（写真右）

以上のように、快適で適切な訪問看護を提供できるように、必要なモノをひとつのかばんにまとめております。訪問看護ステーションあいしんのスタッフはみんな力持ち！この大きなかばんを携えて、日々、ご利用者様のご自宅を訪れ、病状の観察、医療処置、リハビリ等を行い、安心して療養できるお手伝いをしております。

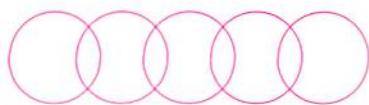
ご相談などございましたら、お気軽にご連絡ください。

訪問看護
介護支援 ステーションあいしん

Tel. 011-752-3540 Fax. 011-748-8771
〒065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-14
加藤ビル3階



明治141年の生活 その2



水道のお話し

明治141年の生活とは？

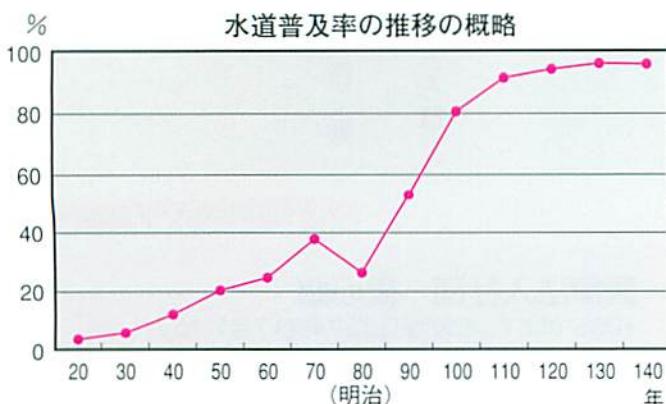
今年は平成20年ですが、明治が続いたら明治141年です。今の生活では当たり前のことであっても、ずっと昔から当たり前であったのかどうかを皆様に問いかけるコーナーです。

10年前にはなかったけど、今あるものって、どんなものがあるでしょうか。ちょっと考えてみて下さい。電子マネーや大型の薄型テレビなどが私の頭にイメージされました。それでは、今あるけど、10年後になくなるものには、何があるでしょうか。VHSテープや公衆電話なんかがありそうですね。

さて、皆さんは今トイレにいます。用を足した後、手を洗いますよね。今は、手を出すと自動的に水が流れるものが多くなりました。そんなものなんて、10年前にはなかったような気がします。便利さに慣れるというのは恐いもので、手洗い時に思わず手を出して、「あ、ここは自動じゃなかった」と気づいて、蛇口をひねった経験はありませんか。もう、条件反射的になってきたんですね。ということで、今回は、水道のお話しです。

蛇口をひねれば水が出る。今は、それが当たり前ですよね。それ以上に、上述したように蛇口をひねらなくても水が出る時代になりました。現在の水道の普及率（2006年現在）は、97.3%ということですから、水道のない地域が非常に稀である状況を示しております。しかしながら、昔から今のように水道が普及していたわけではありません。

では、いつ頃から、水道が普及してきたのでしょうか。厚生労働省健康局水道課の資料を参考にし、年号を明治に変更して、簡単な普及率のグラフを自分なりに作ってみました。精度的には粗削りですが、イメージ的には問題ないでしょう。このグラフによれば、明治90年前後にかけて、急激に上昇しています。昭和というと30年代から40年代となり、高度経済成長の時期です。昭和35年頃には普及率が50%を超えて、昭和50年頃には90%を超えたということです。



ちなみに、当院の外来患者様の平均年齢である67才の方が生まれた昭和15年頃の上水道の普及率は、おおよそ40%ぐらいだったようです。40代の私は井戸に水を汲みに行つた経験はありませんが、寒い冬の日なんかは、とっても大変だったのではないでしょうか。そう思うと、便利な世の中になりました。明治141年の生活に感謝したいと思います。

(西村智嘉男)



あなたの知らない病院の世界～感染性廃棄物の行方～

病院で実施する検査のひとつに採血があります。身体から血を採って分析し、身体の調子がどうなのかを確認します。採血する時には、針と注射器を使います。さて、使い終わった針や注射器はどのように処理されるのでしょうか。今回は、その過程を皆さんにご紹介したいと思います。

まず、使用後の針や注射器は、感染防止のため、他のゴミ（紙やプラスチックなど）とは厳密に区別されて専用のゴミ箱に捨てられます。それ専用のプラスチックケースがあります。右側の写真をご覧下さい。



そのケースは専門の業者が病院から回収していきます。回収した後にそのケースはどう処理されるのでしょうか。結論から先に言いますと、焼却処分されます。2008年6月12日（木）にその焼却工場まで行ってきました。場所は上富良野にありました。工場の風景を写真でご覧下さい。焼却場といつても煙もにおいもありません。もったいないような気がしますが、プラスチックケースは蓋をあけることなく、ケースごとそのまま焼却処分されます。再利用することはありません。燃えている様子を特殊な窓から見ることができました。下側の左の写真をご覧下さい。

焼却処分はされますが、灰が残ります。さらにその灰を処分するところが焼却工場とは別なところにあります。その灰の処分地の風景が右側になります。そこまで追跡しました。そこで完了。貴重な体験でした。このように、感染性廃棄物、具体的には針や注射器などは、感染をさけるべく適切に処理がなされています。皆さんは、ご存知でしたでしょうか。



日本医療機能評価機構の認定を更新しました！

るばす俱楽部



初めて認定を受けたのが1998年。5年毎に更新があり、今年、2回目の更新が終了しました。

「高貴高齢者」
選挙が終わっても
同じ扱いを希望

衆議院議員
殿

（超極楽とんぼ）

※かばんの重さ：正解は5kg

編集後記

東京に行くときに必ず財布の中に入れておくものがあります。「スイカ」です。もちろん果物のすいかではなく、交通機関の切符替わりになるICカードの「スイカ」です。今年の8月に東京の浅草に寄席を聞きにいきました。羽田空港からモノレールで浜松町へ。浜松町から地下鉄浅草線で浅草へ。すべて、「スイカ」1枚でOKです。財布から「スイカ」を取り出すことなく、改札機の所定の場所に財布ごとタッチするだけ。滅茶苦茶便利です。

さて、北海道は札幌市。「スイカ」と同じような機能を持った「キタカ」が10月25日から開始になりました。ただ、残念なのは「スイカ」と違って、JRのみの限定で、地下鉄やバスでは使えないということです。利用者としては、「キタカ」1枚ですべて済むようにしてほしいものです。今後に期待しましょう。

医療法人社団 愛心館

Tel 065-0027 札幌市東区北27条東1丁目1-15
TEL (011) 752-3535 FAX (011) 752-1058
E-mail info@aishinkan.jp
URL http://www.aishinkan.jp
発行／医療法人社団 愛心館
発行日／平成20年10月31日
編集／経営企画部 西村智嘉男、西川万里子
発行責任者／高橋 順一郎